



平成29年度「ピースキャンドルナイト及び はだの平和の日のつどい」開催結果



平成29年8月12日（土）午後3時半～8時半

- ①はだの平和の日のつどい：文化会館小ホール
- ②ピースキャンドルナイト
メイン会場　　：文化会館市民広場
サテライト会場：鶴巻温泉弘法の里湯
- ③平和の日のつどいコンサート：文化会館大ホールホワイエ

主催：秦野市／主管：ピースキャンドルナイト実行委員会

～平和の灯を未来にともす～

秦野市では、市民一人ひとりが平和や命の大切さを改めて考え語り合う機会として、平成20年に、毎年8月15日を「秦野市平和の日」と制定しました。この趣旨を広めるため、平和の日を中心に毎年様々な「平和の日事業」を行っています。

その一つである、市民手作りのキャンドルに平和の灯をともし「ピースキャンドルナイト」は、昨年に引き続き、鶴巻温泉弘法の里湯にサテライト会場を設置し、ピースキャンドルナイト実行委員会やイベントサポーターなど多くのボランティアの協力のもと、メイン会場である文化会館市民広場を中心に、2会場で同時開催されました。

キャンドルの種火には被爆地・広島から持ち帰った「平和の灯」を使用し、平和な未来への希望を込めて約10,000個のキャンドルに灯をともしました。

また、「平和の日事業」10回目となった今年は、文化会館小ホールを会場に、第23回目となった「親子ひろしま訪問団」、そして、今年度初めてもう一つの被爆地である長崎へ派遣した「中学生ながさき訪問団」が、活動報告等を行う「はだの平和の日のつどい」が開催されました。

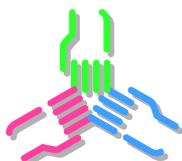
メイン会場では、公募出演者による「平和の日のつどいコンサート」が行われ、美しい音楽が流れる中、会場はキャンドルのやわらかな光に包まれ、1,300人の来場者は平和への思いを新たにしました。

集まったキャンドルは約10,000個



子供からお年寄りまで多くの皆さんが、ペットボトルを再利用して作るキャンドルの作製に協力してくれました。当日会場に持参された分も含め、計約10,000個の手作りキャンドルが集まりました。

運営を支えたのは、約160人のイベントサポーター



中学生を中心に、幅広い年齢層の人がボランティアとして参加し、キャンドルの設置から片付けまで、暑さをもとめずイベントを支えました。

来場者は、約1,300人



当日は、当初雨天が予想されましたが、幸運にも降雨はなく、メイン・サテライト両会場合わせて親子連れなど約1,300人が来場し、キャンドルの点火や片付けなど多くの方がイベントに参加・協力しました。揺らめくキャンドルの光の中で、平和に思いをはせました。

ワクチン375人分にあたるペットボトルキャップを回収



キャンドルの作製と併せてお願いしたペットボトルキャップの募集では、750kg（約322,500個分）のキャップが集まりました。回収したキャップは、リサイクル業者を通じて発展途上国の子供たちのワクチン購入費用として活用されます。



「平和の日事業」カメラスケッチ

13:20

イベントサポーター集合・キャンドル設置

メイン会場となる文化会館に、イベントサポーターが集合。キャンドル設置についての説明を受けたあと、ボランティアリーダーの大学生の指示のもと、設置作業に取り掛かりました。



ガイダンスを聞くサポーター



レイアウト図に沿ってキャンドルを設置する



「平和」をイメージして、様々な形に並べられたキャンドル



～キャンドル作製に協力いただいた皆さん～

- ◆ 保育園 南秦野・ふくろうのもり・ひまわり・第一・若木・西湘秦野・やまゆり・なでしこ・こひつじ・いまいずみ・みどり・にこにこ・第2にこにこ・なでしこ第2・山辺・虹と風・さくら
- ◆ 幼稚園 本町・南・東・北・大根・西・上・みなみがおか・ほりかわ・つるまき・西秦野
- ◆ こども園 すえひろ・つるまき・ひろはた・しづさわ・みどり
- ◆ 小学校 本町・南・東・北・大根・西・上・広畑・渋沢・末広・南が丘・堀川・鶴巻
- ◆ 中学校 本町・南・東・北・大根・西・南が丘・渋沢・鶴巻
- ◆ 婦人会 本町・東・西・南・北・大根・上
- ◆ その他 介護老人保健施設 めぐみの里
会場や公民館に持参した多くの市民の皆さん

15:30

はだの平和の日のつどい

文化会館小ホールを会場に、8月6日「広島原爆の日」に合わせ被爆地広島を訪問した「親子ひろしま訪問団」及び同月9日「長崎原爆の日」に合わせ、今年度初めて長崎を訪問した「中学生ながさき訪問団」が、古谷市長及び石井実行委員長登壇の下、訪問の活動報告や、市長及び実行委員長と生の声で平和についての意見交換を行う「平和を考えるパネルディスカッション」を行いました。



古谷市長によるあいさつ



石井実行委員長によるあいさつ



親子ひろしま訪問団は、こどもたち5人が、スライドに合わせ活動報告



中学生ながさき訪問団は、タブレット端末を操作しながら活動報告



平和を考えるパネルディスカッションでは、コーディネーターの質問に、親御さんたちが生の声で答える場面も



最後に全員で記念撮影

17:30

ピースキャンドル平和行進

ピースキャンドルの種火は、市役所に設置してある「平和の灯モニュメント」の火を利用します。

市内の中学生を含む約100人の参加者が、モニュメントから採火された「平和の灯」をともしたランタンを持って、秦野市平和祈念公園（市立きたなかはら公園）から、メイン会場の文化会館市民広場まで平和行進をして種火を運びました。

■ 平和行進参加者 ■

市内中学生を中心とした約100人の市民の皆さん



出発を前にあいさつをする森泉副実行委員長



「平和の灯」をともすランタンを手渡される行進代表者



種火を先頭にメイン会場へ向かう平和行進

◆ 秦野市平和祈念公園

戦後70年となる平成27年度に、以前は市内各所に建立されていた、数多くの戦没者の名前が刻まれている15基の忠魂碑を、一か所に集約した公園です。戦争の体験や記憶の風化が懸念される中で、平和の大切さを次の世代へ引き継いでいます。



◆ 平和の灯モニュメント

秦野市では、平成21年8月11日に平和の象徴として「平和の灯モニュメント」を設置しました。モニュメントが灯し続けている火は、被爆地・広島を訪れた「親子ひろしま訪問団」が広島平和記念公園の平和の灯を採火し、持ち帰ったものです。

この火は、「ピースキャンドルナイト」の種火への利用をはじめ、様々な平和事業に活用しています。

18:00

ピースキャンドル点灯式

メイン会場である文化会館市民広場に平和行進が到着し、市民広場中央に設置されたメインキャンドルに、運んできた「平和の灯」を点火しました。

石井実行委員の司会のもとピースキャンドルナイトが開会し、古谷義幸秦野市長のあいさつの後、古谷市長と石井実行委員長がメインキャンドルから「平和の灯」を採火し、周囲に設置したサブキャンドルに火を灯しました。

そして、サブキャンドルの火を使って、イベントサポーターや来場者が協力して、会場に設置した約 10,000 個のピースキャンドルに火をともしました。



平和行進が文化会館に到着



Bamboo Project Japan 製作の竹製オブジェ



行進参加者代表がオブジェ中央のメインキャンドルに点火



あいさつする古谷市長



メインキャンドルから採火した火を周りのサブキャンドルに点火



サポーター、来場者も点火に参加

photo gallery



山形県の絵ろうそくも会場を演出



市民広場いっぱい、様々な形に並べられたピースキャンドル



in 鶴巻サテライト会場「弘法の里湯」

メイン会場での点灯式に合わせて、サテライト会場の「弘法の里湯」でも、午後 6 時にキャンドルに平和の灯が点灯され、大根・鶴巻地区婦人会の皆さんや鶴巻こども園の園児などが点火に参加しました。



つまき北公園に設置されたピースキャンドルと点灯に参加する来場者

18:30

平和の日のつどいコンサート

ピースキャンドル点灯式の前後に、6組の公募出演者による「平和の日のつどいコンサート」が文化会館ホワイエを会場に開催され、平和への願いが込められたパフォーマンスが披露されました。

■平和の日のつどいコンサート出演者（出演順）■

- ① こども邦楽育成会&KIDS Koto
- ② The BeatCruise
- ③ 音楽グループ ぶれーめん
- ④ ゴスペル “ぴーなっつ”
- ⑤ Halau ‘Olu ‘olu
- ⑥ プレイバック ‘70フォーク夢



21:00

ピースキャンドルナイト閉会

平和の日のつどいコンサートが終了し、その美しい調べの余韻に浸る中、閉会の時間が近づきました。石井実行委員長のあいさつの後、サポーター、来場者が協力し合いキャンドルの片付けを行い、第10回ピースキャンドルナイトは閉会しました。



◆問い合わせ◆

ピースキャンドルナイト実行委員会事務局（秦野市市民部市民活動支援課内）

電話 0463-82-5118 ファクス 0463-82-6793

メールアドレス siminkatudou@city.hadano.kanagawa.jp